

報告

保険医療医師研修会

常任理事・医療保険部長 橋本 洋一

「より適正な保険診療の実践」および「保険診療上のルールや留意事項等の周知」等を目的に平成14年度から「保険医療医師研修会」を実施している。

今年度から会員と会員が勤務している医療機関の事務職員を対象に表1のとおり開催した。

また、本研修会は例年、当会医療保険部担当役員が道内各地に赴いて（昨年度は宗谷・帯広市・胆振西部・旭川市医師会へ訪問）、講演を行っているが、今年度は、勇気会 北央病院院長兼、北海道厚生局保険指導医（前統括指導医療官）古家隆司先生をお招きし、遠軽医師会と滝川市医師会で講演していただいた（表2）。

初めに「保険診療上のルールと指導・監査について」遠軽・滝川市医師会では古家保険指導医が、室蘭市・石狩医師会では小職が①患者に対する説明義務の大切さ、②診療録記載の義務および重要性、③診療録の保存年限、④一般個別指導の概要や指摘事項、⑤カルテ記載不備による個別指導における返還事例、⑥保険診療における禁止事項、⑦保険外併用療養費、⑧在宅医療、⑨各指導の形態や概要、⑩立会者の役割等について説明した。



古家保険指導医

表1 開催状況

回	日時	開催地医師会 場所	出席者
1	平成25年9月26日(木) 午後6時30分～	遠軽医師会 ホテルサンシャイン	21名
2	平成25年9月30日(月) 午後6時30分～	室蘭市医師会 蓬峯殿	31名
3	平成25年10月11日(金) 午後6時30分～	石狩医師会 ガトーキングダムサッポロ	23名
4	平成25年11月1日(金) 午後6時30分～	滝川市医師会 ホテル三浦華園	41名

また、北海道方式の「集団的個別指導」についても、導入された経緯や保険医療機関の管理者が正当な理由なく欠席した場合には、返還を伴う「個別指導」に移行する可能性があることなどを説明したうえで、必ず出席するよう注意喚起した。

次いで、「保険診療上の留意事項について」遠軽・滝川市医師会では小職が、室蘭市・石狩医師会では笹本常任理事が社保支払基金・国保連合会両審査機関における審査や件数・査定率等の状況、内科領域ならびに全科で問題となる事項などについて説明した。

また、査定対象になりやすい例として①疑い病名での治療、②低薬価（175円以下）薬剤使用時の病名の有無、③傷病名と画像診断部位の不一致、④薬剤投与日数の制限、⑤薬剤の適応病名、⑥各種検査料に含まれている検査費用等、⑦一律のセット検査、⑧薬剤の使用量など約40項目を挙げ、「医科点数表の解釈」等を十分参照したうえで疑義があれば審査機関に問い合わせるよう促した。

各地域の出席者からは「保険診療に関する理解を深めることができた」「配付された資料を活用したい」などの声をいただいた。

平成25年度の開催は11月1日をもって終了したが、引き続き平成26年度も行う予定であるので、開催の際には、是非、出席をいただきたい。

なお、「平成25年度の指導について」は本誌第1136号（平成25年5月1日発行）の解説に小職が執筆しているので参照いただきたい。



研修会の様子（滝川会場）

表2 保険医療医師研修会 次第

1. 開 会 (司会) 北海道医師会常任理事 医療保険部副部長 笹本 洋一
2. 挨拶 北海道医師会、開催地医師会
3. 研 修 (1) 保険診療上のルールと指導・監査について (60分) 北海道厚生局保険指導医 古家 隆司（遠軽・滝川） 北海道医師会常任理事 橋本 洋一（室蘭・石狩） (2) 保険診療上の留意事項について (30分) 北海道医師会常任理事 橋本 洋一（遠軽・滝川） 北海道医師会常任理事 笹本 洋一（室蘭・石狩）
4. 質疑応答
5. 閉 会